

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2019年 5月20日

寝屋川市長 殿



提出者
住 所 大阪府寝屋川市讃良東町2-9
氏 名 前田道路株式会社 寝屋川合材工場
工場長 青山 知充
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 072-822-7521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田道路株式会社 寝屋川合材工場
事業場の所在地	大阪府寝屋川市讃良東町2-9
計画期間	2019年4月1日～2020年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	17：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：345百万円
③従業員数	5名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（2018年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり
(これまでに実施した取組)	
製造工程の現状と評価を行い、減量化の可能性を検討し、産業廃棄物の減量化に努める。	
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり
(今後実施する予定の取組)	
従来までの分析と評価に加えて、減量化の可能性を検討し、産業廃棄物の減量化に努める。	
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラスくず類、建設系混合廃棄物との分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、上記のとおり分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度 (2018 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度 (2018 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
弊社の中間処理設置工場にて破砕処理を行い産業廃棄物の減量を行った		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
引き続き、中間処理設置工場にて破砕処理を行い産業廃棄物の減量に努めます		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（2018年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（2018年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	
(これまでに実施した取組)		
処理施設の定期的査察および稼働状況の把握		

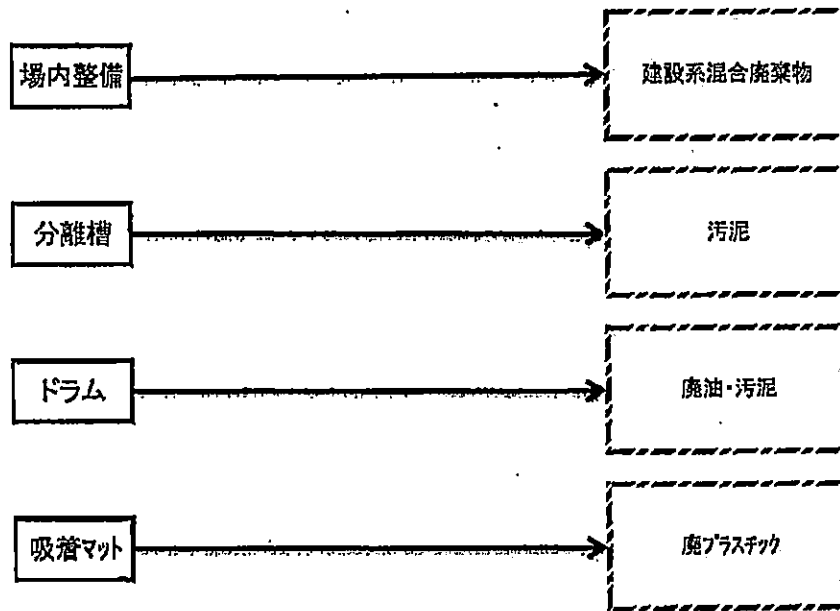
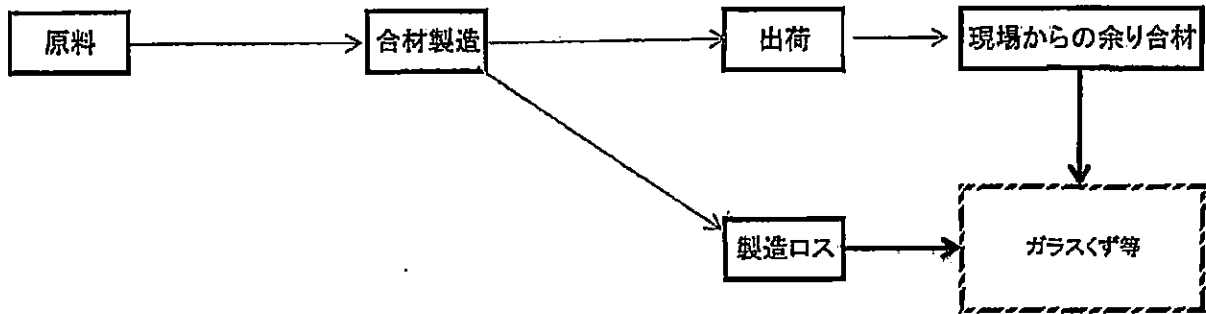
②計画	【目標】	別紙のとおり
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)	
	引き続き、処理施設の定期的査察および稼働状況の把握	
※事務処理欄		

(第6面)

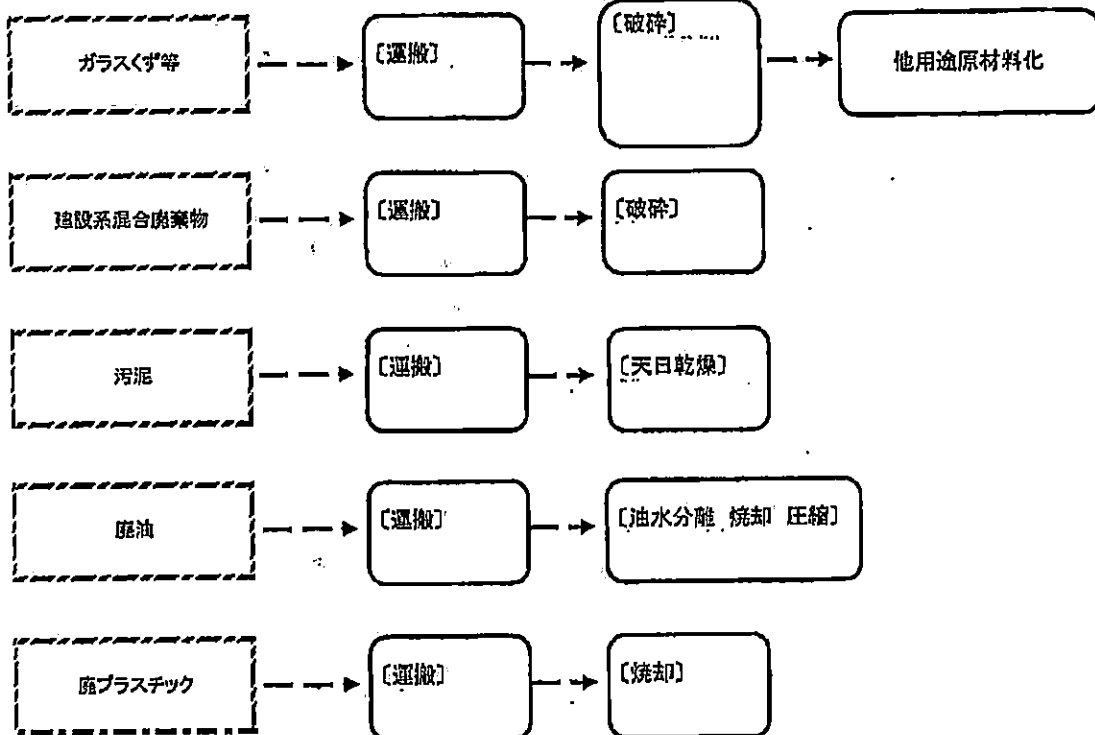
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【産業廃棄物発生工程フロー】



【産業廃棄物処理フロー】



管理体制図および各部署の役割

寝屋川合材工場 工場長

- ・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理
- ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量および性状等のチェック、集計等
- ・処理施設の定期的査察
- ・行政に対する報告等
- ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理
- ・産業廃棄物の適正管理および減量化等に関する所内啓発
- ・各部署間の調整および指示
- ・廃棄物の資源化・減量化および適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定およびその実施

機械課

- ・産業廃棄物の種類、性状、発生量および排出量等の把握
- ・工場の維持管理点検等
- ・処理施設の稼働状況の把握
- ・上記内容を工場長に報告

品質管理課

- ・産業廃棄物の分析および環境事象の分析、測定等
- ・産業廃棄物減量化手法の調査研究
- ・上記内容を工場長に報告

事務課

- ・産業廃棄物の適正処理費用の算出
- ・委託料金の支払方法による業者管理
- ・上記内容を工場長に報告

前 年 度 【 2018 年 度 】 実 績

行 名	業 務 種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別
東京証券取引所	東京証券取引所	東京証券取引所	東京証券取引所	東京証券取引所	東京証券取引所	東京証券取引所
012-022-7811	012-022-7811	012-022-7811	012-022-7811	012-022-7811	012-022-7811	012-022-7811

コード	品 名	計 算 式											②+③	④+⑤		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪				
1	ガラスくず等	2,711			181				181		2,892				181	C
2	建設用混合資材	4								4					4	C
3	廃プラスチック類	1								1					1	C
4	廃物	2								2					2	C
5	汚泥	0								0					0	C
6										0					0	C
7										0					0	C
8										0					0	C
9										0					0	C
10										0					0	C
11										0					0	C
12										0					0	C
13										0					0	C
14										0					0	C
15										0					0	C
16										0					0	C
17										0					0	C
18										0					0	C
19										0					0	C
20										0					0	C
	合計	2,807	0	0	181	0	0	0	181	0	2,847	0	0	181	2,847	C

(注)①～⑪は算出数値にて算出。数字が有線で示せば小数点以下第2位まで表示可。

今年度【2019年度】目録

項目	名称	数量	単位	金額	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

品名	数量		金額		数量		金額		数量		金額		数量		金額		数量		金額		
	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	原	計	
1 300リットル缶	1	1	1,200	1,200																	
2 500リットル缶	2	2	2,400	2,400																	
3 100リットル缶	3	3	3,600	3,600																	
4 200リットル缶	4	4	4,800	4,800																	
5 300リットル缶	5	5	6,000	6,000																	
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
合計			1,200	1,200																	

国産の製品を使用し、品質を確保しております。